

こんにちは。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

諸君は、「肅々部屋」というものをご存じか？知らぬとは言わせぬ。知らぬというのならば、それは悲しきこと。「感度」を高めた方がいいんじゃないでしょうか。

「肅々部屋」の利用について

この部屋は、質問をしたり、話し合ったりする場所ではなく、肅々と勉強に励む部屋である。したがって、

私語は一切禁止する

(守れないものは、卒業まで利用を許可しない。)

【平日】

朝講前(07:25まで)

昼休み(13:10まで)

放課後(18:50まで)

【平日以外の使用可能時間】

土曜日・日曜日 ~16:00まで

定期考査実施期間 ~16:50まで

夏期講習期間 ~16:50まで

冬期講習期間 ~16:50まで

後片付けもきっちりお願いします

肅々と勉強に励むこと



ところで、この「肅々部屋」は、今、どこにあるかご存じか？

考えてみなさい……………

……………

……………

そう、その通り！！勘の鋭い73期生諸君ならば、言わずもがななことであったであろう。

そして、付け加えるべきもう一言があるのもお気づきになったようで、頼もしい。

「私語は一切禁止する」

もちろん「スマホは一切禁止する」

そういう時間と場所を作る。強い意志？そんなの必要ないんです。

私なんか、意志薄弱で三日坊主の連発。あ！三日坊主ってなんか情けないことだと思ってない？あのね、三日坊主って悪いことみたいな風潮があるけど、始めることができただけでも十分じゃないか？何もしないで、やる前からいろんな言い訳とか出来ない理由を並べて諦めちゃう。それって、そもそも始めたくないから、その理由を後からこしらえているに過ぎないのでは。つまり「目的論」。挑戦をした！経験もできた！！立派なことではありませんか！と、まあ、言い訳が長くなったが…(笑)。

我慢できないよ……とか、集中力が続かな……とか、やる気が出ないよ……とかじゃないの。ただ決めるだけ。で、それを実行するだけ。

大丈夫。肅々と。計画表に従うだけ。飽きてきたら、歯を磨くとよい。ホント。

「PASS運動」

Put Away Smartphones and Study.

倉高で推進中の「PASS運動」。

「スマートフォンは片付けて、勉強しよう」を略したもので、

「(志望大学に)合格する」「(スマホは)パスする」の意味が込められています。

さて、「スマホ」と上手く付き合うとはどういうことか。どうなるのか。次の文章は、73期生から聞いたり、書いてもらったりした内容です。

【学年主任の先生に、スマホの制限をパスワード付でかけてもらった生徒】談

・あれだけゲームをしていたけど、いまはそもそもスマホをあまり開かなくなりました。勉強時間がものすごく増えたとは言えませんが(汗)、睡眠時間が増えました。その分、授業に集中して臨むことができます。

【学校でのスマホ利用のマナーを破ってしまった生徒】談

・スマホの制限を決めて、使用しない時間を友人に伝えて理解してもらいます。便利な面も多いですが、他人の時間を奪ってしまうデメリットがあるので気を付けます。夜にスマホを使わなかった時は、きちんと眠ることができている感覚が自分でもあります。スマホを完全に禁止するのではなく、正しく使って付き合っていきたいです。

【2年の夏から一念発起して、家に帰ったらスマホを保護者に預けることにした生徒】談

・依存していたと思います。でも、そのスマホの時間を勉強に充てることができたと思います。成績が上がっている感覚もありました(実際、彼はメキメキ順位が上がりました)。勉強が嫌ではなくなって、意欲的になっている自分があります(ちなみに、保護者の方からも同じような話を聴きました。あの取り組みなら成績が上がってくるだろうなど感じていたそうです)。

自分の時間の使い方を自由に決めることのできる今だからこそ、スマホ利用の改革を。勇気を。